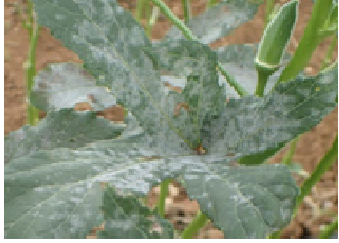
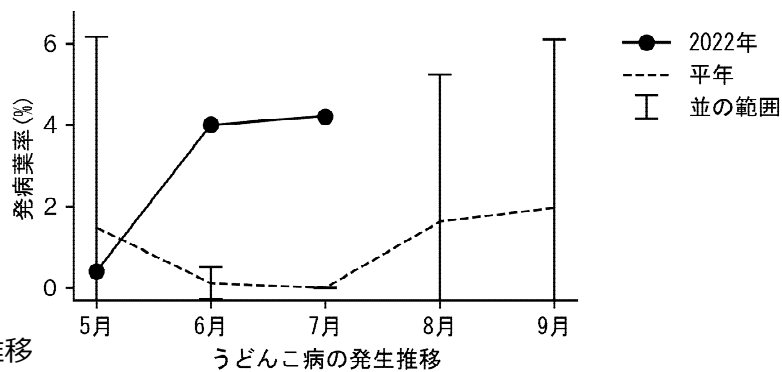


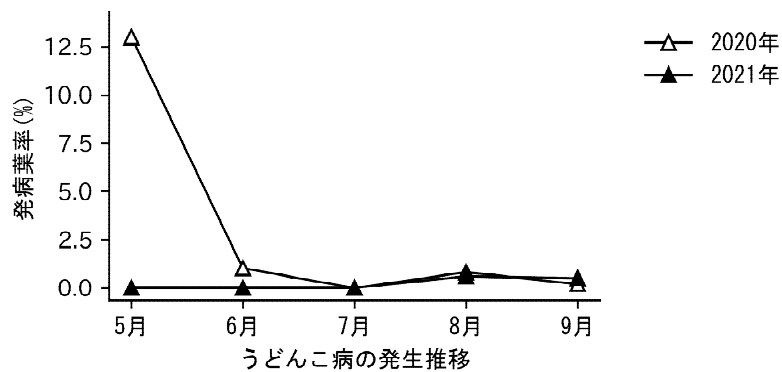
作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	① うどんこ病		
調査結果	7 月の発生量 (平年比)	やや多	
予 報	7 月からの増減傾向	↗	
	8 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

今期と平年の推移



過去2年の推移



- ・一部ほ場で発生
- ・発生ほ場率20.0% (平年：0%)

防除のポイント

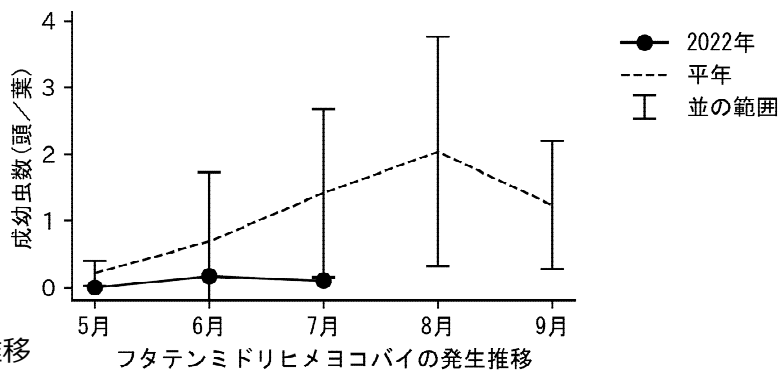
- ・下位の罹病葉や残葉は速やかに除去し、風通しを良くする。
- ・窒素過多にならないようにする。
- ・草勢を維持し、適切な施肥管理を行う。

作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	フタテンミドリヒメヨコバイ		
調査結果	7月の発生量(平年比)	やや少	
予報	7月からの増減傾向	↗	
	8月の発生量(平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移(↗)	

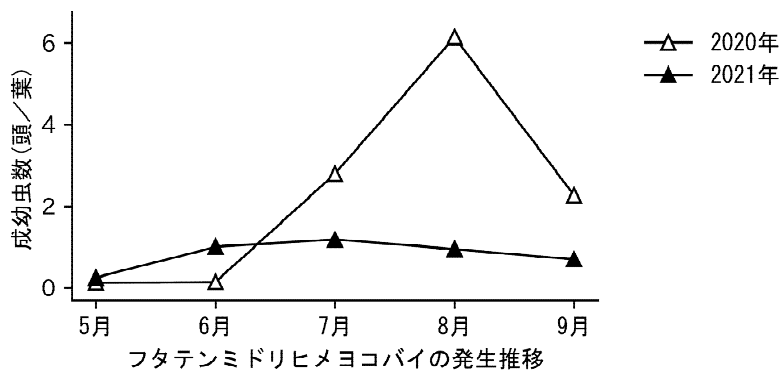


調査結果

今期と平年の推移



過去2年の推移




・発生ほ場率60.0% (平年 : 71.1%)

防除のポイント

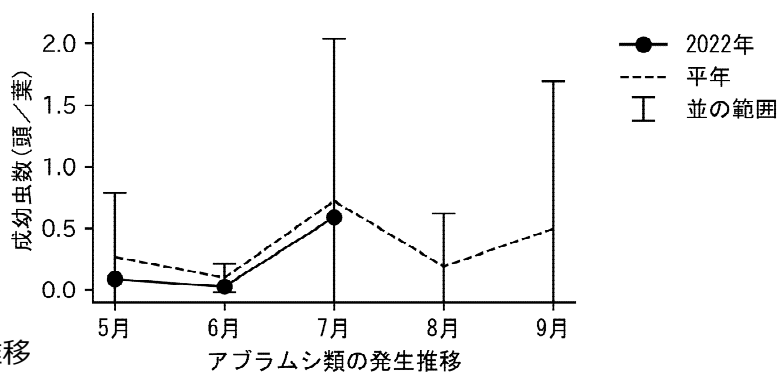
・多発すると被害葉は黄変萎縮するので、葉裏を観察し、早期発見・防除に努める。



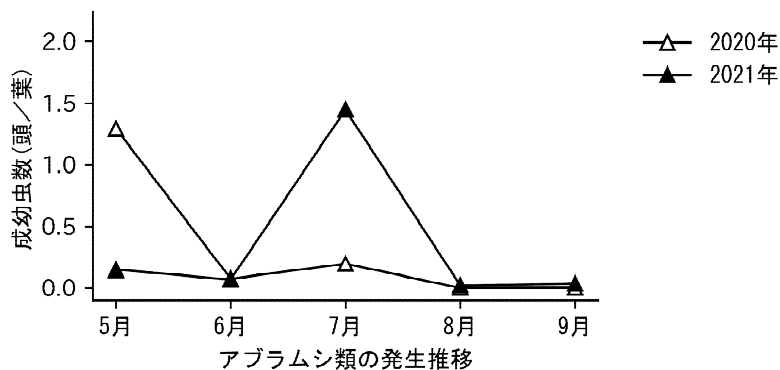
作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	アブラムシ類		
調査結果	7 月の発生量 (平年比)	並	
予報	7 月からの増減傾向	↓	
	8 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓)	

調査結果

今期と平年の推移




過去2年の推移



・発生ほ場率80.0% (平年：26.7%)

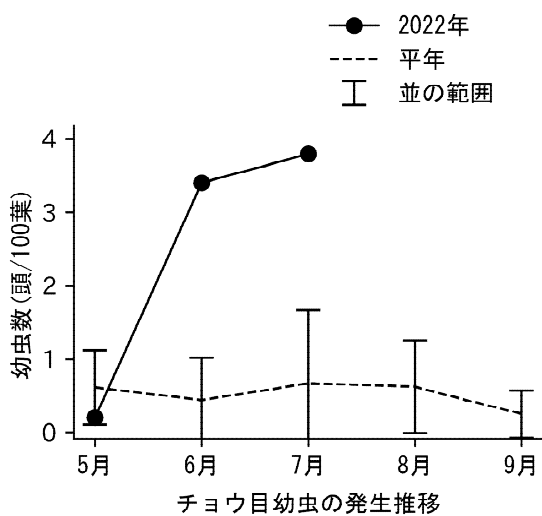
防除のポイント

- ・多発すると新葉の萎縮や芯止まりにより生長が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
- ・発生源となるほ場内外の雑草を除去する。

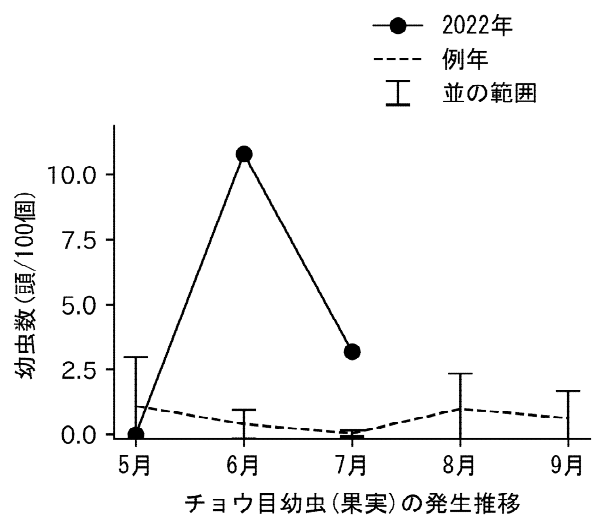
作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	② チョウ目幼虫		
調査結果	7 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	7 月からの増減傾向	→	
	8 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

今期と平年の推移



過去 2 年の推移



- ・発生種：ハスモンヨトウ
- ・発生ほ場率：葉80.0% (平年：22.2%)、果実80.0% (平年：5.0%)

防除のポイント

- ・発生密度が低い場合は、捕殺が有効である。
- ・老齢幼虫に対しては薬剤効果が低減するので、若齢幼虫による食害痕を発見したら、速やかに薬剤を散布する。

